

平成21年度 いちのみや秋のみどりとくらし展

【日 時】 平成21年10月31日(土)～11月 1日(日)

【場 所】 愛知県一宮市 大野極楽寺公園

【来場者数】 16,600人(事務局発表)
(第1弾大野極楽寺公園、第2弾11/7～8名鉄一宮コンコース合計)

【内 容】

- ・ 「いちのみやリバーサイドフェスティバル」の秋バージョンとして、市民緑化の推進を図るため、来場者が緑と花に親しんでもらうイベントとして実施されました。

木曽広域連合では、今回で4回目の参加となりますが、市民との交流を図ることで木曽地域のPRや木曽川水源地域の森林整備への理解を深めてもらいました。

2日目は、午後から雨が降ってしまい予定より1時間ほど早くイベントが終了しました。



- ・ 木曽路コーナーでは、①フォトスタンドの木工体験、②物産販売(業者による五平餅の実演販売、酒類・漬物の販売、木曽広域連合による特産品受託販売)、③観光パンフレット配布による木曽路の観光PRを行いました。





- ・ 市民緑化の推進を図るため、主催者より苗木のプレゼントが行なわれ、1日目は正午からブルーベリーとセンリョウが先着200名に、2日目は午後2時40分からビオラが150名に配布されました。2日間とも大好評で、来園者が長蛇の列をつくっていました。特にブルーベリーは人気が高く、開園前から順番待ちをしている方も見受けられました。
- ・ この他にも、1日目のジャンケン大会（じゃんけんに勝った方50名に「尾張の卵」を1パックプレゼント）や2日目の活けアユの販売も行列ができていました。
 - ・ 出店では、木工体験として愛知建設労働組合によるリースづくり、椅子・タイルを使った壁飾りづくり、特産物即売として一宮市女性農業者会議による野菜・切花販売、青空フリーマーケット等があり大勢の来園者で賑わいました。

